

# 庁議報告事項

開催日：平成27年12月21日(月)

## 1 岡崎市長から

- 金曜日の経済文教委員会において、青年センターと自由民権記念館の指定管理に関する議案が、賛成者なしで否決され、重く受け止めている。委員長報告を良く分析し、今後の対応を考えなければならないが、今後とも、契約議案等で同様の事態が発生する可能性もあるので、今回の件を契機に、契約の相手先の検討には、さらに気を付けてもらいたい。
- 国勢調査の速報が出てきた。人口については、単純計算で年1,000人程度が減少しているが、大街別で見ると減少率は一律ではなく、長期浸水エリアから、非浸水エリアへの住み替えの傾向が見て取れる。今後とも、知事と連携しながら、国直轄による浦戸湾三重防護の早期実施など、南海トラフ地震対策に取り組まなくてはならない。
- 現在、来年度当初予算の経常査定が大詰めを迎えており、年明けからは、政策査定に入るが、弘瀬財務部長の下での査定となるので、よろしく願います。
- 松原教育長には、平成20年9月の就任以来、7年3ヶ月に渡り、本市の教育行政の発展のためにご活躍いただいた。中学校の学力向上や、全国に先駆けて保・幼・小連携に取り組み、特に、土佐山の小中一貫校は、過疎地域における成功事例として全国に誇れる取り組みとなった。これまでのご活躍に、改めて感謝申し上げる。

## 2 井上副市長から

- 国の補正予算が、金曜日に閣議決定された。TPPや商工関連の分野、また、一億総活躍社会の実現に向けた保育や介護の分野に手厚い補正となっている。各部局では、関係省庁のホームページを確認するなど、情報収集に当たってもらいたい。
- 国の補正予算には、地方創生の深化を図るための「地方創生加速化交付金」も盛り込まれており、全国で1,000億円が措置され、10/10と使い勝手の良い交付金となっている。現在、総務部と財務部で対象事業の精査を行っているので、各部局に相談があった際は、対応をよろしく願います。
- 国の来年度当初予算についても、閣議決定を経て、近々に示されると思うので、注視をしておくこと。
- 12月17日に、浅草にオープンした「まるごとにつぼん」には、本市から常設ブースを設置しており、高機能演出照明により、本市のプロモーション映像を投影したり、物産の販売も行っている。先日、出張の折りに訪れてみたが、多くのお客さんで賑わっており、物産の販売も好調で良かった。職員のみなさんも、近くを訪れた際には、是非、立ち寄ってもらいたい。

## 3 各部局から

### ○ 報告事項

- ・ 勸奨による定年前早期退職の取扱いについて（総務部）
- ・ 高知龍馬マラソン2016への職員の協力について（教育委員会）

### ○ 委員会審議状況報告

- ・ 総務常任委員会（財務部、市民協働部）